

審査統一基準（五段以下）

段・級位	体配	射法・射技	学科の扱い
五段	起居進退は規矩に従い、容儀、態度に落ち着きがあり、卑下せず奢り昂らない。 息合いと協応している。形だけのものは不可。 和服着用、肌脱ぎ、襷捌きを行う。	三重十文字、五重十文字に崩れない。 大三への受け渡しに適正で、縦線を生かし、引き分けから会にスムーズに運行する。 会深く、心気安定・充実し、詰合い・伸び合いに徹し、離れ鋭く、弦音冴え、残身に気力充実している。 離れで体逃げ手が前が出る、緩む、万歳、切り下げ、送る、離れ出せず力で無理に切るなどは否。 原則束中。片矢でも、会、離れ、弦音、残身等の条件により総合評価。	
四段	参段に比し、修練の成果が顕著な者。 体配正しく、息合いとの協応が意識されている。 失の処理適正。 審査の要領に従って正しく行射する。	八節形に適い、息合い伴う。 三重十文字、五重十文字概ね正しく、引き分けからスムーズに運行する。 詰合い・伸び合いに努め、気力の充実が見られる。 矢筋に鋭い離れ。弓返り（不完全でも他の要素との総合評価）。 打切り、大きな握り落ち不可。 原則束中、片矢でも総合評価。	
参段	氣息整う。 体配、審査の要領、概ね正しい。 失の処理概ね正しい。	射術の運用に気力あり、三重十文字、五重十文字概ね適正。 手の内の形概ね良好。癖があり離れに悪影響あるものは否。 矢束・頬付・胸弦・縦横十文字・的付け正しい。 矢筋に力強い離れ。矢勢よく、残身に気合がある。 弓返りが望ましい。向う弦は総合評価。 確かな残身。 片矢以上。不中でも総合評価。 筈こぼれは、残り1射で評価。2射共にこぼれれば否。（参段～初段共通）	
二段	動作、姿勢、形整う。 正しい指導を受けていることがうかがわれる。	初段に比して進歩が見られる。 三重十文字、五重十文字概ね整う。 会において伸びようと努め、気力の継続が見られる。 矢筋に一線に離れ、残身概ね良好。 弓返り不問。 矢所乱れない。的中不問。	高得点については、総合評価で考慮することができる。
初段	体配きちんとできる。 弓矢の捌き、矢番え、足の運びなどスムーズに行われる。	八節概ね形に適い、運行がスムーズ。 足踏み、胴造りがしっかりしている。 手の内の形ほぼ整う。弓返り不問。 会の持満に努め、概ね矢筋に離れる。 残心及び弓倒し後の執り弓の姿勢大きく崩れない。 矢枕落ち不問。	
壹級	体配間違いなくできる。	八節の形、運行概ね正しい。 多少の体の歪み、離れ・残身における体の動揺は不問。 筈こぼれは、残り1射で判定。2射共にこぼれればもう1射引かせて判定。3回こぼれれば否。（級位共通）	
弍級	参級に比し進歩が見られる。 体配ほぼ間違いなくできる。	八節の運行、ほぼ間違いなくできる。	
参級	基本動作を基本通りやろうとする姿勢が見られる。 執り弓の姿勢、弓矢の持ち方、捌き方、矢番え、弓倒しができる。 八節の運行ができる。		
四級	弓矢の取り扱いに慣れてきている。 矢を安全に飛ばすことができる。		
五級	初歩的段階。 矢を番え、飛ばすことができる。		